

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1～6月訪日客、2%減の2108万人 中国客減少の影響続く

・日本政府観光局(JNTO)が発表した1～6月の訪日客数は2108万4800人。前年同期と比べて2%減。韓国や台湾からの客数が増加する一方、中国政府による訪日自粛要請の影響が出た。国・地域別に見ると中国客が205万8200人と56.4%減。最も多くの観光客が来た国は韓国で18.6%増の567万5100人。台湾は20.9%増の397万2200人と続いた。

◆仕事のストレス原因の精神障害、労災認定7年連続最多 25年度1082件

・厚生労働省は仕事によるストレスが原因で精神障害を発症し、2025年度に認定された労働災害は1082件(前年度比26件増)だったと発表。原因としてはパワーハラスメントが目立つ。7年連続で過去最多となった。精神障害の労災請求も4958件(同1178件増)で最多更新。25年度内に支給・不支給が決定した件数に占める支給の割合(認定率)は約3割。

◆税収の東京集中是正が「地方成長の基礎に」、地方知事ら 全国知事会

・全国知事会は鳥取市で開催中の「全国知事会議」で税収の東京一極集中の是正について議論。2027年度以降の税制改正で具体策が検討される見通しで、同日の会議では多くの知事が措置の確実な実施を主張。税収が減る東京都は反発した。地方側には財源が豊かな東京都と住民サービスの格差が広がっているとの不満がある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンション建築費指数 6月は0.9%上昇

・建設物価調査会が発表した6月の東京地区の建築費指数(速報値、2015年=100)は、マンション(鉄筋コンクリート造)が前月比で0.9%上昇し145.6。上昇は19カ月連続で、過去最高を更新。6月はモルタル施工や石こうボードの値上がりが目立った。電線・ケーブルなどの値上がり傾向も続く。オフィスビル(鉄骨造)は1.2%高の143.8。

◆エチレン稼働率、6月66.5%で最低 ナフサ値下がり見越して買い控え

・石油化学工業協会が発表した6月のエチレン生産設備の稼働率(速報ベース)は66.5%と過去最低。同月は米国とイランの軍事衝突が収束するとの観測が高まりナフサ価格が下落。6月の稼働率は66.5%で、4月に記録した67.3%を下回り、過去最低を更新。6月にはナフサ価格は、平時と同水準まで下落し、先安観が強まった。

◆ダイキン、大阪の「ぴちゅんくん」看板で酷暑日表示 8月1日から

・大阪・梅田とJR新大阪駅前に設置する看板「大ぴちゅんくん」で最高気温がセ氏40度以上の酷暑日に対応した表示を8月1日から始めると発表。街中での熱中症対策を呼びかける。気温や湿度をそれぞれ高・中・低の3つにわけ、その組み合わせによって9種類の「空気感」を青、黄、赤など9色で表現。湿度が高く体への負担大きい場合には注意促す。

《 注目商品 》

■三協アルミ、太陽電池一体型アルミ手すり

・ビル・集合住宅向けに、太陽電池一体型アルミ手すり「FINEMASTERSOLA(ファインマスターソラ)」を発売。中低層から高層まで対応可能なアルミ手すり製品「FINEMASTER(ファインマスター)」をベースに、様々なメーカーの太陽光パネルを組み込める太陽電池一体型アルミ手すり。



■ウッドワン 線や凹凸をとことんなくした室内ドア・収納建具

・内装建材シリーズ「ドレタス」に新アイテムを追加。4月から先行受注を開始した室内ドア「下地枠(建具)」に加え、7月から新たに収納扉「アウトセット枠(収納建具)」の受注を開始。「少しでも線を減らしたい」というニーズに応えるとともに、現場での省力化を実現。



■トーヨーキッチン、マットメタリック+立体表情の新デザイン

・システムキッチン「BAY(ベイ)」 「BAY CUBE(ベイキューブ)」の新デザインとして「S チタニウム2」をラインアップ。マットメタリックな質感と、高圧・高熱処理された特殊樹脂含浸素材「HPL(ハイプレッシャーラミネート)」による立体的なテクスチャーが繊細な陰影を表現。

